

洗浄剤の基礎知識

●洗浄剤の分類

	界面活性剤	アルカリ剤	酸	溶剤	キレート剤	水
アルカリ性洗浄剤	○	○	—	—	○	○
酸性洗浄剤	○	—	○	—	○	○
中性洗浄剤	○	—	—	—	—	○
溶剤系洗浄剤	—	—	—	○	—	—
準水系洗浄剤(W/O)	○	—	—	○	—	○
水系洗浄剤(O/W)	○	—	—	○	—	○

●成分

- 界面活性剤** : 汚れを水に溶かす効果がある。
アルカリ洗浄剤はアニオン系・ノニオン系。酸性洗浄剤でカチオン系。中性でアニオン系、ノニオン系が使われる。両性はあまり使われない。
- アルカリ剤** : 有機汚れを分解する効果がある。
無機アルカリは主に KOH、NaOH が使われる。各 5%以上含有すると劇物となる。有機アルカリは MEA などが使われる。20%含有すると劇物となる。
- 酸** : カルシウム塩・マグネシウム塩などの金属汚れを分解する。
- 溶剤** : 主にアルコール系溶剤・グリコール系溶剤。引火性あり。油分の溶解力が強い。引火性の無いフッ素系溶剤、塩素系溶剤、臭素系溶剤は使われなくなっている。
- キレート剤** : 金属イオンと結合し、界面活性剤の効果を安定させる。

●推奨する製品

- アルカリ洗浄剤 : AS-3、KR-6140、A2-K、A-8700
劇物アルカリ洗浄剤 : R-300K、KR-303



- ※ 加温、超音波を併用すれば、作業時間の短縮が可能です。
洗浄後は水リンスが必要となります。